

平成 30 年度 橋本市教育委員会第 1 回 ESD 連続セミナー概要報告

奈良教育大学 北村 恭康

- 開催日時 平成 30 年 6 月 22 日(金) 16 時 ~ 18 時
- 会場 橋本市教育文化会館
- 参加者 五十川純輝・野田直香・川西真由・中谷咲貴(三石小)、西田典史(清水小)
岡村久恵・西淵健太(紀見小)、米山真寿・白木香澄・辻本貴久(あやの台小)
森 和子(教育委員会)

○内容

1.開催日時(全 5 回)

6 月 22 日(金)16 時・8 月 8 日(水)14 時・27 日(月)14 時・12 月 7 日(金) 16 時・
1 月 11 日(金)16 時

2.研修の主な内容

- ・ 持続可能な開発目標(SDGs)の内容理解
- ・ ESD の学習理論
- ・ 優良実践事例の分析
- ・ ESD 学習指導案の作成と相互検討
- ※ 1 月末日をめどに修正した ESD 学習指導案を提出
- 2 月 提出された ESD 学習指導案及びミニレポートの審査
- 3 月 ESD ティーチャー認定証の授与

1 ESD について Education for Sustainable development

1972 年 国連人間環境会議(ストックホルム会議) 「環境教育」概念の提起

1980 年 世界自然(環境)保全戦略 「持続可能な開発」概念の提起

1987 年 環境と開発に関する世界委員会(ブルントラント委員会)

持続可能な開発の表現が使われる

「将来世代のニーズを損なうことなく現在の世代のニ
ーズを満たす開発」

◎世代内の公正と世代間の公正

1992 年 国連環境開発会議(地球サミット) リオデジャネ

イロ

「持続可能な開発」についての行動計画(アジェンダ 21) 教育の重要性

1997 年 テサロニキ会議

持続可能性という概念は、環境だけではなく、貧困、人口、健康、食糧安全、
民主主義、人権、平和をも包含する者・・・その規範には敬意を払われるべき
文化的多様性、伝統的知識が内在している。



- 2002年 持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルク)
 ※2005年～2014年 国連ESDの10年(DESDE)として推進
- 2014年 ESDに関するユネスコ世界会議
- 2016年 持続可能な開発目標(SDGs)発効

2. ESDの視点とSDGsの関係

裏にSDGsの目標が印刷してあります。

SDGs	ESD視点	SDGs	ESD視点
1		10	
2		11	
3		12	
4		13	
5		14	
6		15	
7		16	
8		17	
9			

3. 目指す方向性は同じ

SDGs ⇒ 経済、環境、社会の諸課題を包括的に扱い、課題相互の関連を重視

ESD ⇒ 人格の発達、自立心、判断力、責任感等の人間性を育む

他者との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関り」「つながり」を尊重できる個人を育む（日本ユネスコ国内委員会 2012. 1）

（環境、平和、貧困、平和、・・・課題相互の関連を重視）



4. SDGsの構造からの捉え方

1～17を4つのグループに分けてみましょう。【番号を】

--	--	--	--

Think globally act locally (地球規模で考えて 地域で行動する)

5. ESD に関する解釈の変化

持続可能な社会作りの担い手を育成する教育 ⇒ 持続可能な社会作りの担い手を育成する教育を通して、SDGs の達成に貢献する教育へ

ハーマン・デイリー 地球からの供給源と吸収源の持続可能な限界について

- ・再生可能な資源を持続可能な形で利用するには、その資源が再生するペースを超えてはならない。
- ・再生不可能な資源を持続可能な形で利用するには、その再生不可能な資源に代わりうる再生可能な資源が開発されるペースを上回ってはならない。
- ・汚染物質を持続可能な形で排出するには、自然や環境がそうした汚染物質を循環し吸収し、無害化できるペースを超えてはならない。

6. ESD で育てたい見方・考え方(視点)

	多種多様な要素	互いに作用し合う	ある方向に変化
自然環境・社会環境 (実体概念)	多様性	相互性	有限性・循環性
ヒト・集団の意志行動 (規範概念)	公平性	連携性	責任性

6. ESD でつきたい資質・能力

- ① クリティカルシンキング(批判的思考力・代替案の思考力)
- ② システムズシンキング (全体を見ていくことで大事なことを何か、解決策などを考える)
- ③ 長期的思考力(データに基づき見通しを持つ力)
- ④ コミュニケーション力
- ⑤ 協働的解決力

7. ESD で育てたい価値観(見方・考え方の背景となる生き方の基準)

- ① 世代内の公正と世代間の公正
- ② 生物多様性などの自然環境の保全を尊重する
- ③ 互いの人権・文化を尊重する

8. ESD が必要とされる背景

- ①地球温暖化
- ②エネルギー問題
- ③食糧問題
- ④生物多様性の劣化